

広報

まちづくり情報誌

# 小田原

city of odawara public relations

4 2007  
APR  
1日号



# 市立病院の

# 診療体制が

# 変わります

内科と耳鼻いんこう科は紹介状が必要です



おだわらいふ3月15日号でもお知らせましたが、  
今、全国的に医師不足が大きな社会問題となっています。

皆さんの暮らしを医療面から支えるため、  
さまざまな取り組みをしている市立病院もその例に漏れません。

4月からはどのように変わるのでしょうか。

◎経営管理課 ☎34-3175



## 初診の診療が変わります

全国的な医師不足の中、これまで市長や病院長などが県内外の大学を訪れるなどで、医師の確保にも一定のめどがつきましたが、一部の診療科では、現在のところも医師の数が十分ではありません。

そこで、4月から、内科のうち呼吸器科、消化器科、循環器科では過去1年以内、耳鼻いんこう科では過去3か月以内に受診歴がない場合は初診として、受診には開業医などからの紹介状が必要となります。

また、糖尿病内分泌科は受診者が多いため、紹介状のほかにあらかじめかかりつけ医から当院の担当医への相談が必要です。さらに、リハビリテーション科は常勤の医師が不在となるため、患者の皆さんのご希望を伺いながら、地域の医療機関などに紹介しています。現在診療中の小児患者や補装具利用のかたは週2回、臨時の医師が引き続き診察します。

そのほか、腎内科、神経内科、心身医療科については、常勤医が不在のため引き継ぎ初診のかたの受け入れを行いません。なお、休日夜間の時間外診療では、特に内科の医師が不足しているため、火、木曜日の夜間と、土、日曜日など休診日の昼間は、



## がん対策も重点的に

それぞれ個別の病気への診療に力を入れるのは当然ですが、市立病院では同じくらい、がん対策にも力を入れています。

医療の進歩に合わせ、がんの診断や治療の方法も格段に進歩しつつあります。がんの死因のトップを占めているからです。

しかし、がんは早期に発見し、治療を進めば、今や治る病気なのです。そこで、従来の機器に比べ、より小さいがんの発見が期待できる最新の検査機器である「陽電子断層撮影装置（PET/CT）」を昨年初めに導入し、4月からがん検診を始めました。

さらに、がんは早期に発見すれば、今や治る病気なのです。そこで、従来の機器に比べ、より小さいがんの発見が期待できる最新の検査機器である「陽電子断層撮影装置（PET/CT）」を昨年初めに導入し、4月からがん検診を始めました。

さらに、国から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、PET/CTなど高度な医療機器によるがんの早期発見、早期治療や地域の医療機関と連携して質の高いがん医療を提供しています。

また、医師、看護師などのチームにより、患者のがんの痛みや不安を軽減するための緩和ケア医療を行ったり、患者や家族から、診療や在宅生活の支援についての相談を受けたりしています。

そこで、医療の質を客観的に確認するため、医療機関の機能を中立的な立場で評価し、問題

## 医療の質も検証

新たな取り組みを進めても、医療の質が低下しては意味があ

りません。

このように、さまざまな取り組みをしていますが、診療を行う医師が不足してはどうにもなりません。

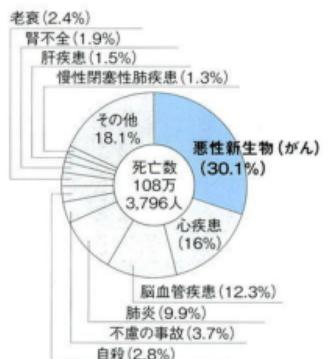
昨年に引き続き、診療体制に制限がかかり、迷惑をお掛けしますが、皆さんに安全で安心のできる医療をお届けするため、

今後も診療体制の回復に向けて努力していきますので、ご協力をお願いします。



◆陽電子断層撮影装置（PET/CT）

## 【平成17年 全国の人口動態統計（抜粋）】



市立病院の  
診療体制が  
変わります



病院長  
中島 龍さん

## かかりつけ医を持ちましょう



この機会に、身近に相談できる、お近くの「かかりつけ医」をぜひ持ちましょう。健康力レンダーや小田原医師会のホームページをご覧になるか、医師会地域医療連携室（☎ 47-0833）や地域医療相談室をご利用ください。

小田原医師会ホームページ  
<http://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>

## 皆さんもご協力を

市立病院は、安定した医療の質を維持するため、大学病院に医師の派遣をお願いしていますが、そこにも中堅の医師が少なく、難しい状態にあります。そのため、理屈でいっても、更にやるを得なくなってしまった。

医師の確保には、この病院で研修を受けた医師がそのまま働いてくれることが理想です。

幸いにも研修機関と契約を結んでおり、高い評価を受けているので、今後も積極的に研修医を受け入れます。

また、医師や看護師などが気持ちよく働き続けられるよう、常に考えています。

市民の皆さんには、大変申し訳ないのですが、まちづくりを協働で行うように、この機会に市立病院の役割を、そしてこの病院をどのように育てることを考えていただければと思います。

# 3月補正予算の概要

●財政課 331-312

## 補正予算の概要

### 一般会計補正予算

(8億6,748万6千円追加)

### 競輪事業特別会計補正予算

(865万8千円追加)

### 天守閣事業特別会計

(73万円追加)

### 下水道事業特別会計

(2億3,913万6千円追加)

### 国民健康保険事業特別会計

(4億2,375万3千円追加)

### 国民健康保険診療施設事業特別会計

(200万円追加)

### 公設地方卸売市場事業特別会計

(177万2千円追加)

### 老人保健医療事業特別会計

(1億1,604万5千円減額)

### 宿泊等施設事業特別会計

(1,027万9千円追加)

この結果、全会計の予算額は、1,442億2,733万7千円となりました。補正予算の主な内容は、次のとおりです。

●職員給与費の増額

普通退職者の増による退職手当を計上するとともに、職員の異動などにより不足を生じる各費目の職員給与費

を増額しました。

●高齢者・重度障害者・小児医療助成費の増額

不足が見込まれる高齢者などの医療助成費を増額しました。

●生活保護扶助費の増額

不足が見込まれる生活保護扶助費を増額しました。

●江之浦漁港災害復旧事業費の計上

強風と波浪により被害を受けた江之浦漁港の災害復旧事業費を計上しました。

●介護保険事業特別会計

(7,931万4千円追加)

●老人保健医療事業特別会計

(1,027万2千円減額)

●財政調整基金繰入金の減額

平成18年度の決算見込みなどから財政調整基金の取り崩しを取りやめました。

また、「寄附者一覧」のとおりご寄附をいただきましたので、そのご意思を生きせるように、各基金に積み立てるとともに、事業費を計上しました。

●ふるさと文化基金寄附金

(合計84万6,201円)

▼ふるさと文化基金寄附金

(合計43万4,736円)

▼社会福祉基金寄附金

(合計56万2,149円)

▼小田原セレモニーホール協力会

▼小田原経営研究会(賢人会)

▼ざる菊園 鈴木三郎

▼ダンスサークルマガレット

▼防災対策基金寄附金

(合計56万2,149円)

▼小田原市消防器普及会

▼小田原交通安全協会取扱分

▼横浜銀行取扱分

▼静岡銀行取扱分

▼中央三井信託銀行取扱分

▼さがみ信用金庫取扱分

▼小田原第一信用組合取扱分

▼小田原郵便局取扱分  
▼小田原東特定郵便局取扱分  
▼小田原西特定郵便局取扱分  
▼かながわ湘南農業協同組合取扱分  
▼西さがみ建設協同組合取扱分  
▼匿名1件

▼本門仏立宗法正寺  
▼丸真 酒井商店

▼全印刷局労働組合小田原支部  
▼小田原ガスショールーム エコリア  
▼齊藤喜美男

▼村上祐司  
▼コミニティ俱乐部

▼匿名2件  
(合計2万8,290円)

# もつと便利に！ 市のホームページ

4月16日(月)から  
スタート

疑問がスッキリ解決！  
よくある質問と回答

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>



市ホームページ  
上の「スッキリ  
解決！よくある  
質問と回答」ボ  
タンをクリック。

<http://faq.city.odawara.kanagawa.jp/>



力チ!

知りたい情報を  
クリック。  
検索もできます。  
<例>  
「市政モニター  
の募集」について  
検索。

昨年の全国広報コンクールで入選するなど、  
評価を受けている市のホームページ。  
さらに、早く、分かりやすく、情報が探せる  
よう、「よくある質問と回答」コーナーを作  
り、パワーアップしました。  
市に多く寄せられる質問や問い合わせとその  
回答を集めてるので、あなたの疑問がスッ  
キリ解決すること間違いなしです。

広報広聴室

331263



問い合わせの場  
合は「お問い合わせボタン」を  
クリックして、  
投稿フォームへ。

※当サイトは、送信する情報が傍受・妨害されることを防ぐ、  
暗号技術（SSL）により安全性が確保されています。

## 【便利です、メールマガジン】

市のメールマガジンは6誌あり、すでに延べ1万人のかたが利用しています。環境情報や安全安心情報など、最新の情報を手にできます。お申し込みは、市ホームページやメールで。メールの場合、[Email@mmz.city.odawara.kanagawa.jp](mailto:Email@mmz.city.odawara.kanagawa.jp)へ空メールをお送りください。登録のためのメールを返送します。

### <配信中のメールマガジン>

- おだわら表情いしメール（毎月2回発行）
- 市長のほんじょーく（週に1回発行）
- ママパパ（子育て知識＆メール（月に1回発行）
- 防災メール（必要に応じて随時発行）
- おだわら環境メールニュース（必要に応じて随時発行）
- おだわら安心・安全メール（必要に応じて随時発行）

使い方はとっても簡単。市ホームページ  
上の「よくある質問と回答」ボタンを  
クリック。  
知りたい情報をキーワードで検索したり、住民登録の方法や子育て情報などを  
分類した「分野別で探す」、人生の大き  
な出来事を分類した「ライフイベントで  
探す」、各課別で探す」の各分類から検  
索したりできるほか、「参照の多いよく  
ある質問」「最新のよくある質問」など、  
いくつもの入り口から欲しい情報にたど  
り着くことができます。

質問と回答のページは  
一問一答形式で、分かり  
やすく紹介しています。

また、ページの最後に  
は、回答が参考になつた  
かどうか、二者択一のア

ンケート機能を設けましたので、ぜひ投  
稿してみてください。回答のさらなる充  
実に役立てます。

## 問い合わせもできます

「回答を見たけど「分からなかった」「こん  
なことも聞いてみたい」という人には、ベ  
ジ内にお問い合わせ窓口を開設しました。  
「お問い合わせ」ボタンをクリックする  
と、投稿フォームへとリンクしますので、  
質問の内容やメールアドレスを入力して、  
送信してください。後日、市からEメー  
ルで回答します（内容によって、回答に  
時間がかかる場合もあります）。

市役所に聞きたいことがあるけど、  
忙しくて時間がない」「市政情報やイベ  
ント情報などを調べたい」というかたは、  
まずはのぞいてみてください。知りたい情

## 愛称は「けやき」

広報「おだわらいふ」1月15日号で募集した「生涯学習センター本館の愛称」に、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。愛称は、選考の結果、「けやき」となりました。

なお、採用作品の応募者の中から、藤村真司さん(文)に、また、応募者全員から、3人のかたに、それぞれ抽選により記念品をお送りします。



# 「けやき」が開館!

## ~中央公民館は生涯学習センターに~

「いつでも、どこでも、だれでも」生き生きと学習することができ、学んだ成果を地域社会で生かすことができる生涯学習社会を築くため、

生涯学習活動の総合拠点として、

4月1日から、中央公民館などは新たに生涯学習センターとして生まれ変わります。

●生涯学習センターけやき ☎35-5300

近年、市民の皆さんのお学習活動の意識の高まりとともに、公民館への要望も多様化、高度化してきました。そこで、これらの要望に円滑に対応できるよう、公民館に新たな機能を加え、生涯学習センターとして開設しました。

従来の中央公民館を本館として、国府津公民館はセンター国府津学習館に、各地の分館はセンター分館に変わります。生涯学習センターでは、まち全体をキャンバスとした市民の皆さんの学習・文化活動を総合的に支援し、学習を通じた市民のかたがたの交流を促します。そして、地域社会を支える小田原の人づくりを進めます。

また、①生涯学習施設、講座・イベント、学習サポートなどの学習情報の収集と提供、②学習相談、市民の皆さんの主体的な学習の支援、③ほかの施設・機関とのネットワーク化、④「小田原学講座」などセンター事業の開設、⑤地区公民館活動の支援などを一層強化・充実していくきます。

### 公民館と何が変わるの?

○本館に学習情報提供や学習相談を行う窓口を設置しました。

○本館ホールは、1年前から施設予約ができるようになりました。

○生涯学習ボランティアと協働・連携しながら、まち全体に講座などの事業を開催します。

サービス担当

図書館  
[生涯学習政策課]

生涯学習政策担当、事業推進担当、  
公館担当

生涯学習政策課  
生涯学習政策担当、事業推進担当、  
公館担当

生涯学習政策課  
生涯学習政策担当、事業推進担当、  
公館担当

組織の簡素化・効率化や生涯学習センターの開設のため、担当の統合をします。

お知らせ

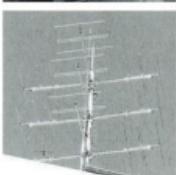
## 4月1日から 組織・機構の一部が 変わります



●企画政策課 ☎33-1253

いざというときにも安心

# 防災情報は 「FMおだわら78.7MHz」で



災害時など、何かあったときにはどうやって情報を得ればいいのか。それが一番難しいところです。

市では、市からの情報発信を強化するため、新たに開局したFMおだわらとも協定を結んでいます。

●防災対策課 ☎33-1855  
広報広聴室 ☎33-1261

## 情報は重要

いまさらと思うかもしれません、が、情報はとても重要なものです。それが災害などの緊急時ならなおさらです。市では、いざというときの情報を防災行政用無線などで提供していますが、雨や風の音はもちろん、最近では

遮音がしっかりとされた住宅が増えたり、車の音など無線の音よりも大きな音が増えたりしたこと、さらには反響音などで、聞こえにくいという声も聞かれます。

しかし、正確で素早い情報の提供は、災害時には最も重要なこと。情報が全くなかつたり、間違った情報が伝わればパニックになつたりしてしまうからです。実際に地震などを体験したかたの話を聞くと、必ずそういった話が出ることからも情報の重要性は裏づけられているのです。

## 過去の教訓から

市でも、平成17年4月に水道送水管の破損による断水事故、同年8月には台風11号の影響で河川が増水し、山王川周辺地域への避難勧告が出るということがありました。

しかし、これらの際に、市民から市へ「情報があまり伝わらなかつた」という苦情が多く寄せられました。そのため、自治会や商工会議所などのかたをメンバーとする「緊急災害時における情報発信研究会」を設置し、災害など緊急時の情報伝達をどうすべきかを研究しました。

## そこでラジオ

現時点で、災害などの場合に、市から情報を伝える主要な手段は、防災行政

おかげ桜

文 小澤良明

市長隨想

おかげ桜祭りの日、片浦の「おかげ桜まつり」を訪れた。山の傾斜のそこかしこに緋桃色とでも云うべきか、おかげ桜が可憐な花を咲かせていて、まさに三月三日のお節句にぴったりの雰囲気を醸し出していた。甘い花蜜に誘われて目白連が駆やかに飛び交い、東の間、山里の桃源郷に迷い込んだような錯覚にとらわれた。

十数年前、新たな夢への挑戦に目をキラキラ輝かせ、トットツと語る農家の青年がいた。今、「きのこ苑お山のたいしょう」のKさん「離れのやど星ヶ山」のUさんである。農家にとつて最も苦手の筈の客の商売に、進の意身を投するという話に、その意気や良し、と感銘を受けながらも「本当に大丈夫かな?」と危惧を覚えたのは私だけではなかつたろう。それから何かの時に訪問しては、懸命にご商売に取り組んでいらっしゃる姿に、山ほどのご苦労はあつても口にされないのだろう、「たいいものだ」と私自身の不明を恥じてもいた。ひと落ち着きした彼等は、素晴らしい根府川の風光に、何か新しい彩りをということで早咲きで花色の濃い「おかげ桜」に目をつけた。園内に少しずつ増やしていくつて、今では遠来の花

## 防災講演会を開催

1月28日、連合赤軍あさま山荘事件などの事件処理を指揮した佐々淳行さんを中央公民館に招き、「これからの危機管理」を題に講演会を行いました。

佐々さんからは、「危機管理は自分で自分を助ける自助、お互いに助け合う互助、公の助けである公助の組み合わせだが、大きな災害のときには最初の72時間は公の助けは来ないと考え自助が重要。まず自分で自分の身を守る」といった心構えや「避難時に足をガラスから守るスニーカーを枕元に用意する。通電再開後の火災防止のためブレーカーを下ろし、できれば負傷者救助のために車のジャッキをもって逃げる。災害時は決して自動車で避難しない、万一自動車を路上に放置する場合は必ずきざをつけたままにして移動できるようにする」といった具体的な避難方法、さらには「災害時にはトイレの問題が深刻なので、ふだんから個人で介護用の簡易トイレを備えておく。バニック防止のためにも懐中電灯が役に立つので常に身の周りに」など個人ができる具体的な危機管理の話がありました。



用無線、広報車、ホームページ、ケーブルテレビ、防災メールですが、それぞれに長所や短所があります。それ安定した情報提供ができると考えられている防災行政用無線は、先に述べたような問題をすべて解消することはできませんし、ホームページやケーブルテレビは停電してしまえば使えません。防災メールも携帯電話のメールが増えることにより使用が制限されることも予想されます。このように、現状を分析し、研究した結果、最終的にた



どりいたのが「ラジオ」でした。  
ラジオは車でも聞けるし、携帯用や携中電灯についているなど種類多く、電池式もあるので停電時でも使えます。

また、新潟県中越地震では、地元のコミュニティFMが発災直後から、開設された避難所やライフラインの情報を即時に提供し、その後も安否確認情報を伝達し、細かい情報を放送して、被災者を力づけました。

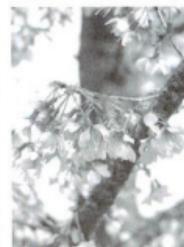
市内の企業や団体などの協力により先月末に開局した「FMおだわら」は市内を放送区域とし、地域情報の提供に特化したコミュニティ放送局です。ふだんは街の情報を放送し、いざというときは災害にある強みを生かし、避難情報など細かい情報まで正確に素早く発信します。

何かあったときは周波数78.7MHzの「FMおだわら」で最新情報を得るようになります。

「おかげ桜」は日本文化に深い理解を持ち、日本をこよなく愛した英国人C・イングラムにより寒緋桜と豆桜を交配して誕生した。染井吉野のように「緑乱」という趣きではないが、まさに清楚、お雛祭りの桜、ふつくらとした「おかげ」の印象である。ひと花、ひと花をじっくりと見て欲しく思える。

Kさん、Uさんのあくなき努力がおかげ桜で咲き、今ではご両家とも後継者も立派に育つていただける。当初不安も大きく決断も躊躇しかつた。それが、今は息子や娘が共に苦労を分ちあつてくれる。若い未来を賭けてくれる、親としてたとえようもない喜びであろう。

この若い人々の時代には、早春、片浦丘陵一帯が「おかげ桜」の絢爛色に華やかに包まれ、大勢のお客様をお迎えできるだろう。私がかねてより想う城下町小田原の「桜物語」の初めのページを飾る花名所となるだろう、そんな楽しい夢をみた。



見客までお迎えできるようになつた。片浦全体を「おかげ桜の里」にしようという地域の皆さんによる上り今まで計画的に植栽が進められている。

# 行革レポート

## 市民が選ぶ予算の使い道

行政経営室 ☎ 33-1304

「市民が選ぶ予算の使い道」制度は、市民の皆さんからの声を直接予算に反映させるため、アンケート調査によつて選ばれた事業分野に約1億円（市民税の約1%相当額）の予算を重点的に配分する制度です。

昨年8月に実施したアンケート調査で、約3,000人のかたに、どの事業分野に予算を重点配分すべきかお尋ねし、1,600人近くのかた回答をいたしました。今年度は、このアンケートの回答割合に応じて、総額1億円を左表の

事業に重点配分します。この財源は、ビルトン小田原駅からの施設貸付収入の一部を活用しています。今後も、市民の皆さんとのコミュニケーションを深め、より多くの方に利用していただけます。

事業分野	事業の内容
高齢者福祉の充実	高齢者施設ルネッサンス事業 社会福祉センターの入浴施設を改修、生涯学習センター・豊川分館のトイレを改修
	高齢者居宅火災報知器設置費補助事業 高齢者のみの非課税世帯を対象に火災報知器の設置費を一部補助
	障害者地域生活支援事業などの利用者負担軽減事業 障害者の移動支援事業などの利用者負担率を引き下げ、児童ディサビリティ事業所などでの食費負担額を一部助成（いずれも平成20年度まで）
障害者福祉の充実	障害者福祉情報提供事業 障害者福祉制度を説明した冊子を作成・配布
	バリアフリー化推進事業 利用者が多い街区公園出入口の段差消し・ベンチ設置、フラワーガーデン「溪流の梅林」出入口の拡張、城址公園北口歩道の路面改修と手すり設置
	患者サービス改革事業 温水洗浄式洋式トイレへの改修、外来患者など受付カウンターへ受付順発券機を設置
市立病院の運営	灯の明るいまちづくり活動事業 防犯灯をより明るいインバータ方式へ切り替えるための費用を補助
	災害・防災情報提供事業 防災無線の子局用スピーカーを増設、防災マップ作成、防災情報を掲載した回観板作成・配布
	仮設災害対策本部用資機材整備事業 仮設災害対策本部用の資機材や衛星電話などを整備、収納倉庫を設置
防災対策の推進	合同津波訓練開催事業 近隣自治体との合同による広域津波訓練を実施
	(仮称) 桜「子育て支援センター」備品整備事業 (仮称) 桜地域センターに開設する子育て支援センターに必要な備品を購入
	子育てにやさしく快適な施設整備事業 公共施設にベビーキープやベビーシート、授乳室などを整備、園庭を解放している公立保育所とフラワーガーデンに遊具を設置、老朽化した街区公園の遊具を更新
子育て支援策の充実	地域安心安全道づくり事業 市と地域で意見交換や現地調査を行い、緊急度が高い箇所を迅速に整備
	マイスター出張授業プロジェクト事業 各界の専門家による出張授業を実施、授業をパソコンで再生した講習、情報発信
	魅力ある都市づくりの推進 北條ボケットパーク新設事業 小田原駅前の証券会社跡地を「潤いと安らぎ」の歩行者滞留スペースとして整備

## おだわらインフォメーション

Dōjima Information

### 鉄道利用が便利に

サービス開始！

都市政策課 ☎ 33-1267

JRを除く市内の鉄道各社で、あらかじめ入金して繰り返して使用できるICカード乗車券、「PASMO」が3月18日に導入されました。

すでにJR東日本で導入されているSuicaと相互利用もできるので、PASMOでJR東日本各線も利用できますし、逆にSuicaでも各線が利用できるようになりました。なお、このカードは、バスの乗車券としても使えますが、市内では、導入時期が未定の一部の会社を除き、平成19年度中に順次導入される予定です。詳しくは駅などへお問い合わせください。

【お問い合わせ】  
広報おだわらふるさと3月15日号のお知らせコラムの「プロ野球（イースタンリーグ）公式戦」の記事中、前売り入場券の販売場所は、「いすみではなく、正しくは『スポーツ会館』です。おわびして訂正いたします。」

飼い主の責任です

# 狂犬病の予防注射

## 飼い主の責任です

※鑑札と狂犬病予防注射済票は、必ず愛犬の首輪につけましょう。鑑札・済票の交付は環境保護課で、左表の注射会場でも、注射・交付をしています。開業獣医で代行してもらえる場合もあります。引つ越しをしたときは、鑑札と愛犬手帳を持って市内の場合は環境保護課へ

**6** 大が亡くなつたときは、環境保護課へ鑑札を返し、登録の抹消届を提出してください。また、火葬を希望されるかたは、環境事業センター（小動物担当☎347366）へ連絡してください。

●料金(大・頭につき)		単位：円
新規登録料	—	新規
注射済票	—	
交付手数料	550	
県歯医師会	550	
集合注射料金	2,950	
合計	3,500	
	6,500	

犬を飼うときの心掛け

大は愛情と責任を持って厳しく、ほんの人に迷惑や危害を及ぼさないよう、心配りと正しいしつけが必要です。

**②** 年に1回(4~6月)狂犬病予防注射を受けしてください。

新しい飼い主へ渡してください。また新しい飼い主が、住んでいる市町村へ届け出をしてください。

日程	時間	会場
4月11日(木)	9:30~10:20	西栖山児童遊園地
	10:50~11:30	西大友公民館
	13:30~14:20	早川河原公園
4月12日(木)	9:30~10:10	東町弘経寺
	10:30~11:20	中町熊野神社
	13:30~13:50	總世寺駐車場
4月13日(金)	14:10~14:30	北ノ窪公民館
	9:30~10:30	橋支所
	10:50~11:20	前羽福祉館
4月17日(火)	13:30~14:30	豊川支所
	9:30~10:00	江之浦公民館
	10:40~11:30	板橋公園
4月18日(水)	13:30~14:30	千代三島神社
	9:30~10:30	小八幡公民館
	10:50~11:30	酒匂小学校正門前
4月19日(木)	13:30~14:10	蓮正寺住宅集会所前
	9:30~10:00	元市営国府津プール
	10:30~11:10	田島津島神社
4月20日(金)	13:30~14:30	中村原理立処分場
	9:30~10:20	飯泉公民館
	10:50~11:20	桑原公民館
4月24日(火)	13:30~14:30	久野宮本公民館
	9:30~ 9:40	米神神社
	10:00~10:10	石橋公民館
4月25日(水)	10:50~11:20	農協大窪支店
	13:30~14:30	酒匂神社
	9:30~10:20	富水西北公民館
4月26日(木)	10:50~11:30	穴部公民館
	13:20~13:40	欠ノ上公民館
	14:10~14:30	多古公民館
4月27日(金)	9:30~10:30	橋団地公民館
	10:50~11:20	小竹賀テニスボール場
	13:30~14:20	荻窪公民館
5月10日(木)	9:30~10:00	中曾根公民館
	10:20~11:20	飯田岡飯田神社
	13:30~14:30	農協曾我支店
5月11日(金)	9:40~10:30	矢作春光院観音堂
	11:00~11:30	今井公民館
	13:30~14:30	曾比公民館
5月15日(火)	9:30~10:30	南鴨宮新田公園
	11:00~11:30	井細田八幡神社
	13:30~14:10	農協早川柑橘選果場
5月16日(水)	9:30~10:30	国府津菅原神社
	11:00~11:30	農協下府中支店
	13:30~13:50	府川公民館
5月17日(木)	14:10~14:30	久所公民館
	9:20~ 9:40	寺町公民館
	10:00~10:40	栄町大乗寺
5月18日(金)	11:00~11:30	浜町北條稲荷
	13:30~14:30	久野区民会館
	9:30~ 9:50	根府川公民館
5月19日(土)	10:40~11:20	県立青少年会館跡地
	13:30~14:30	尊徳記念館駐車場
	9:30~10:30	小田原文学館駐車場
5月20日(日)	11:00~11:20	入生田長興山入口
	13:30~14:30	県の森やーー駐車場
	9:30~10:30	根府川公民館

\*各会場とも、開始間際は大変混雑します。雨天でも行いますが、  
荒天の場合は延期することがあります。  
※日程は、ホームページからもご覧になれます。  
※逃走したり、押されられずに注射ができないことがありますので、  
必ず犬を押さえられるかたが会場に来てください。



# 少年少女 オーシャンクルーズ



小田原の未来を担う子どもたちの夢と希望を乗せ、今年も出航します。  
大自然とふれあい、ステキな体験と楽しい思い出を作りましょう！  
「にっぽん丸」に乗る本研修だけではなく、  
事前・事後の研修、ツーリーマークへの参加など  
1年を通して活動しますので、多くの出会いとたくさんの友達が作れます！  
今年の本研修は、8月22日(水)～24日(金)です。

申込 青少年課 ☎33-1731

## 募 集

### \* シンドバッド 第14期生 \*



1年を通して活動に積極的に参加できるシンドバッドを募集します。

**対象** 市内に在住・在学の小学5・6年生524人

**申込** 4月18日(木)から5月10日(土)までに、  
はがき(消印有効)か市ホームページの電子申請で。

※募集要項や申し込みはがきは、4月  
中旬に各小学校で配ります。

### \* サポーター \*



1年を通してはじめて取り組んでくれる、  
シンドバッド(小学生)のまとめ役のサポーターを募集します。

**対象** 市内に在住・在学の高校生  
25人程度

**申込** 4月2日(月)～13日(金)(土・日曜  
を除く)の8:30～17:00に、  
電話か市ホームページで。

※4月21日(土)に面接あり。

### \* サムライシンドバッド \*



5月3日㈫の「北條五代祭り」に、三代  
北條氏康隊として参加するサムライシンドバッドを募集します。

**対象** 市内に在住・在学の中・高校  
生25人・先着順

**申込** 4月2日(月)から、電話で。

## 昨年の本研修では、こんなことをしたよ！

### 団長とのふれあいタイム

団長である小澤市長と名刺を交換したり、Tシャツにサインを書いてもらったりしました。



### 星座教室

船内のあかりがすべて  
消され、閉じていた目を開け上げると、輝く星座たちが。  
「夏の大三角形」が  
はっきりと見えた瞬間には、歓声が揚がりました。



### 船上運動会(ウォーターバーナック)

たらいから洗面器で  
水をくみ、みんなで  
頭上を通して後方へ  
渡していきます。真  
夏の暑い日、みんな  
でびしょびしょになり  
ながら、大いに盛り  
上がりました。



ほかにも、「船内探検ラリー」「ロープワーク」など盛りだくさん

## (仮称) 城下町ホール

運営のあり方の検討を開始

### <管理運営検討委員会>

(仮称) 城下町ホールは、鑑賞の場、創造の場、交流の場として期待されています。

このため、さまざまな立場からホール運営のあり方を検討していくため、管理運営検討委員会が2月28日に発足し、市民代表や専門家など11人の委員が検討を開始しました。

ご意見はがきやEメールでお寄せください。

〒250-8555

小田原市文化交流課

Eメール

hall@city.odawara.kanagawa.jp

# いよいよ市民の夢が形に

城下町ホールは実施設計が完了し、平成21年度の開館に向けて、本年度、建設工事に着手します。詳しい内容は、広報小田原5月1号でお知らせしますが、今回は、設計者である山本理顕さんに、城下町ホールについて語っていただきました。

●文化交流課 ☎33-1705

城下町ホールは、市が設計の条件とした基本構想を基に、説明会などを通して、市民の皆さんとの声を直接伺い、設計に反映するよう努めました。その特徴の一部を紹介します。

### お堀端通りにふさわしい外観

小田原城とお堀端通りの景観は極めて魅力的で、私は、銅門やお堀の周辺を季節ごとに何度も歩き、城下町ホールが作り出すお堀端通りの景観を考え続けました。

水平ラインを基調とした白い壁と格子をイメージしたデザインは、歴史的景観に調和します。すぐれた音響性能を備えたホール

内部の曲面壁は音響面で非常に有効で、そのうえすぐれた耐震性能を持っています。

日本最高の音響設計の専門家とともにホールの形状などを検討し、

クラシックなどの生音にも適した音響性能

能の高いホールになります。

市民の皆さんの発表会での利用はも

ちろん、プロのアーティストのコンサートも十分楽しめます。

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

# 今月の笑顔

元気あふれる人たちの笑顔は、見ている人たちにも力を与えてくれるもの。このコーナーでは、みんなが元気になるよう、すてきな笑顔をお届けします。



代表取締役  
鈴木 吉兵衛さん

放送局長  
鈴木 伸幸さん

FMおだわら (78.7MHz) を担う二人  
「まずは聞いてほしい」

**Close Up**  
注目の情報を届け!

新たに市民になったかたへ

## 新幹線通勤費の一部を助成

定住促進モデル事業・おだわらネットサensus推進本部事業

企画政策課 ☎33-1400

人が増えればまちは活気づきます。そこで、市では、人口増加策の一つとして、働く世代の転入を進めるため、新たに小田原市民になり、新幹線を利用して通勤するかたに新幹線の定期代の一部を補助しています。

対象 新たに市に転入し、小田原駅から東京駅、品川駅、静岡駅の区間を一年以上継続して新幹線定期で通勤するかた

助成金額 新幹線定期代の自己負担額の1/2(年上限5万円で3年間が限度)  
申込 転入後60日以内に  
※詳しくは、お問い合わせください。

「いつももいつしょ」をキヤツチフレーズに、ふだんは身近な地域情報、そしていざというときは防災情報を提供する「FMおだわら」開局したばかりの放送局を引っ張る二人に、今後の意気込みを伺いました。

「皆さんの会話のきっかけになると、うれしいですね。だから、地元の情報はこの放送を聞けば大丈夫と言われるような放送を作りたい」と吉兵衛さん。

実際に放送を取り仕切る放送局長は、「リスナーが参加できる放送も用意しています。どんな小さな情報でもしっかりと放送したいので、皆さんも情報をどんどん寄せてほしいですね」と語ります。

「押しの番組は」と尋ねると、「小田原ゆかりの声優郷田ほづみさんの小田原を舞台にしたラジオドラマや、学校、自治会情報を取り上げる番組。地元の若手ミュージシャンも出演しますし、もちろん、天気予報や交通情報も小田原をピボットに放送局になるよう、努力するの

していきますよ」とにっこり。

は当たり前。リスナーの皆さんからの意見を番組に反映させていくべき認知度も上がっていくことでしょう。だからこそ、聞いてもらえて、喜んでいただける番組を作っていてないかね」と、笑顔の中にもこれからを見据える力強い視線がのぞきました。



連載

# 学校自慢!

このコーナーでは、小・中学校でのユニークな取り組みを紹介します。子どもたちの生き生きとした表情を見ると、小田原の未来も安心!という気持ちになりますね。

◎教育政策課 ☎ 33-1671

今月号は…

## 鴨宮中学校 (生徒数: 581人)



### 心と心をつなぐ 鴨中ボランティア

大規模商業施設が多く造られ、都市化が進み住環境も急速に変化している地域ですが、まだまだ多くの田園に囲まれた鴨宮中学校。

平成4年から15年間続けて、アルミ缶を生徒の家庭や地域から集めるアルミ缶回収活動を生徒会が中心に行っています。特に昨年度は、夏休みにもアルミ缶回収を行いました。そこから得た収益金は、東南アジアのラオスで恵まれない同世代の子どもたちの学費として支援をしていました。約3万円で、一人の生徒が3年間就学できるのです。

また、毎週木曜日には、通学時に、通学路に落ちているゴミやアルミ缶、スチール缶などを拾う通学路清掃運動を始めました。地域のボランティア活動にも積極的に参加し、学校だけではなく地域全体の美化活動に取り組んでいます。

「真・善・美」この言葉は、校長室の額に入れられた校訓です。昭和30年に当時の校長先生と生徒たちが修学旅行先でノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士の家を訪れ、いたいたものです。「真・直・善・人のため 美・思いやり、やさしさ」を表し、本校の教育の基本となっています。

ボランティアを通して地域とふれあい、校訓の一つである「善・人のため」に尽くす心を育てています。

アルミ缶回収、それは僕たち高中生の誇りです。月に一度、アルミ缶を全生徒から集め、それをお金に換えてラオスの子どもが学校に通うことを援助しています。地域の同心も高く、アルミ缶を学校まで運んでくださるかたもいます。これからも地域、そして世界と心をつないでいきたいです。



赤松 和樹さん  
(3年生)

鶴中では、ボランティア活動として通学路清掃を行っています。1月には、保護者に協力いただき、全校で地域清掃を行いました。その結果、たくさんのごみが集まり、道路などがとてもきれいになりました。地域にお住まいのお年寄りから、「お疲れさま」と声もかけられました。これからも地域のかたから感謝されるボランティア活動を続けていきたいです。



原 真優さん  
(3年生)



### おだわら

# 花通信

さまざまな花に彩られ、四季折々の表情を見せるおだわら。  
これから毎月、花の名所を紹介します。

1  
その

## 小田原 フラワーガーデン

◎フラワーガーデン ☎ 34-2814

平成7年に開園した花とみどりのオアシス、フラワーガーデン。熱帯の花や果樹が楽しめるトロピカルドーム(有料)に咲くヒスイカズラ(3~5月)は必見です。

また、周辺道路には、開園に当たり、市民の皆さんからメモリアルロード事業として募集植栽した、約80本の染井吉野(4月上旬)が約400mにわたり見事に咲き誇り、まるで「桜のトンネル」を思わせる桜の名所になっています。

その後も「あれ、もう桜は終わったのに…?」というころに葉をつけたまま咲き出す「八重桜(4月中旬~5月上旬)」や「御衣黄(4月下旬)」と桜の花の「トントリレー」が続きます。

そして、5月の「バラ」へと花リレーが続きます。  
※気象条件などでご覧いただけない場合もあります。

